



令和3年 鎌ヶ谷市議会定例会6月会議報告

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した61事業(約4億円)の補正予算を含む議案を可決

6月会議では、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続く中で市民生活への影響を軽減する事業等議案9件、同意案1件が可決されました。その主な内容は下記の通りです。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用

新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに感染拡大の影響を受けている市民生活を支援する61事業の予算化

【主な事業】

- 公共施設の非接触型水道・照明等の改修
- 障がい者、高齢者、事業者への支援（介護サービス、PCR検査）
- 中小企業に対する支援（市の融資制度を活用する際の信用保証料の補助、利子補給率の引き上げ）

●生活が困窮する市民への住居確保給付金(家賃補助)を増額

新型コロナウイルス感染症の影響及び国の受給要件の緩和がさらに延長されたことから、給付金を増額します。

●国民健康保険料・介護保険料の徴収猶予・減免の継続

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が前年と比較して30%以上減少した場合、保険料の徴収猶予・減免をします。

●子育て世帯への給付

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することに伴い、低所得の子育て世帯に給付金を支給します。

- 対象者 住民税非課税等の子育て世帯
- 支給額 児童1人あたり5万円
- 支給時期 7月以降

また、ひとり親世帯に対しては、早急に生活支援を行う必要があることから、令和3年5月7日に既に児童1人あたり5万円を支給しています。

新型コロナウイルスワクチン接種状況！

65歳以上の接種について、5月12日に医療機関での個別接種、5月20日に集団接種が開始された。開始当初は、「コールセンターが繋がらない」「予約枠がすぐに埋まってしまう」等の問い合わせが多く混乱が見られたが、接種体制の拡充により、現在は予約が当初に比べ取りやすい状況になっている。

- 65歳以上31,400人の内、1回目の予約が終了：57.9%(6月11日時点)
- 65歳以上の接種希望者への予約サポート窓口設置(総合福祉保健センター2階、まなびいプラザ等)
- 64歳以下で大規模接種センター、職域で接種を希望する方は申し出をすることで接種券を送付
- 60歳～64歳、60歳未満で基礎疾患がある人(要申し出)には6月末に接種券を送付予定

(仮称) 東部地区児童センターの整備に向けて ～令和5年度中の開館を目指して～

市内5カ所に児童センターが設置されていますが、東部地区には、児童センターが設置されていない状況にあります。その整備に向けて、前期基本計画に位置付け、計画的に事業の実施に取り組んでいくこととなりました。

● 児童センターとは・・・

地域の子育て支援の拠点となる児童センターは、18歳未満のすべての子どもを対象に、地域における遊び及び生活の援助、子育て支援を行うことで、子どもの心身を育成し、情操を豊かにすることを目的とした児童福祉施設です。

児童センターでは、主に次の役割があります。

- (1) 子どもの支援として、遊びや生活交流を通じた子どもの発達及び体力の増進を図ります。
- (2) 子育て家庭の支援として、子育て家庭の相談・援助を行うとともに、子育て家庭同士の交流の場を提供します。
- (3) 地域の子育て支援の拠点として、子どもの育ちに関する組織などのネットワークの中心となり、連携を図ります。



《児童センターの様子》市HPより

● 東部地区児童センターの整備に向けて・・・

児童センターの整備に向けて、令和3年度に用地を取得するとともに、建設に向けての実施設計を行う予定となっています。建設工事については、令和4～5年度に実施予定で、令和5年度中の開館を目指して取り組んでいます。子育てにやさしい街、東部地区の子育て支援の充実を図るため、東部地区児童センターの計画的な整備を進めていきます！



《建設候補予定地》



6月会議を終えて

6月会議初日の6月10日に清水市長から議長あてに辞職願が提出され、同日付けの辞職が同意された。これを受け、今後、市長選挙が予定されている。

市長選挙には芝田裕美議員(政友会)が立候補を表明している。今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返す中では、非常に難しい市政運営が予想される。

このような時こそ市議会議員5期18年の実績と確かな実行力をもつ芝田議員を応援していきたい。



勝又まさる — プロフィール —

議会所属委員会

● 教育福祉常任委員会 委員

● 議会運営委員会 委員

● 鎌ヶ谷市監査委員